

# 数 学 理系型3教科方式、薬学方式

〈出題内容・形式・配点〉

内容	形式	配点	試験時間
I 三角関数、指数・対数、データの分析	記述	25	100分
II 微分、積分	記述	25	
III 空間図形、ベクトル	記述	25	
IV 確率、集合と論理	記述	25	
合計		100	

【出題の基本方針】

方程式、図形、三角関数、指数・対数、微分・積分、数列、確率、データの分析などに重点を置き、高等学校レベルの基礎学力が身につけているかを測ることを念頭において作問した。教科書の内容の理解度と、着実に計算して答を導く力を試す問題構成を心がけた。

【学習のポイント】

- ・方程式、図形、三角関数、指数・対数、微分・積分、級数、数列、確率、データの分析などに重点を置き、高等学校レベルの基礎学力を測ることを基本方針としている。
- ・教科書を何度も繰り返して読んで定義と基本的な考え方を理解し、定理を証明したり教科書の問題を確実に解いたりできるようにすることが大切である。グラフや、上面図、平面図、正面図、側面図などを描きながら学ぶことを勧める。計算力を高め、教科書に書いてある各項目の相互の関連を考えながら応用問題に取り組むことが望ましい。
- ・ただ問題と解法を眺めるだけでは、実際の問題に取り組んだ時に正解にはたどりつけないことが多い。自分で解き、計算する訓練をしっかりしてほしい。